

市政を問う

一般質問



橋野 仁司議員
(とよおか市民クラブ)

地方創生その先の先に豊岡が目指すものとは

問 「地方は貧しくてつまらない」なら地方で生きていくためにはどうすればよいのか。市民にとって未来に何を期待してどう夢を描けばよいのか

答 10代と20代における転出・転入それぞれの超過があっても転出超過分の35%しか回復しないことが人口減少の最大の要因。大学もなく広い世界で見聞を広げたいとすれば10代の転出はやむを得ない。さまざまな要因から地方で暮らす価値を否定されている。私たちがこれからやるべきことは

世界的な「ローカル・アンド・グローバル」の価値を再発見し再創造することにある。その旗印がローカル・アンド・グローバルであり、小さな世界都市の実現にある。何よりまずローカルであること、地域固有の伝統や歴史を大切にしながら更に磨きをかけてグローバルな中で輝かせること。



「地方は貧しくてつまらない」そんなことはない!

問 今は予算編成に全力を注ぎたい。続投するののか、進むべき道について責任ある答えを出していきたい。

答 小さな世界都市の実現に向けて手ごたえはローカルベースでありながら勝負は世界の中でやっていく。確実にその方向に向かっていく。

問 来春の市長選に伴い中具市長の去就は

答 今は予算編成に全力を注ぎたい。続投するののか、進むべき道について責任ある答えを出していきたい。

中具市政のその先の先に ついて

豊岡に暮らすことの価値を再発見し再創造することにある。その旗印がローカル・アンド・グローバルであり、小さな世界都市の実現にある。何よりまずローカルであること、地域固有の伝統や歴史を大切にしながら更に磨きをかけてグローバルな中で輝かせること。



CO₂、コスト削減のため公共施設のLED化推進を、まず市役所から



西田 真議員
(ひかり)

公共施設のLED化

問 消費電力が少なく長寿命のLED照明はCO₂削減と環境への負荷を低減する。また、電気代等ランニングコスト削減にもつながる。ぜひ今後のLED化推進をスピードアップして行っていくかどうか

答 ランニングコストの削減、地球温暖化対策に貢献し得ることから、LED化が可能な施設から導入を進めていきたいと考えている。積極的に推進する。

交通安全事故防止対策

問 国道426号線、旧豊岡病院線と市道正法寺岩井線の交わる、高屋の信号機付き交差点。豊岡病院方面から正法寺大橋方面へ右折する場合、右折レーンがありながら上陰方面からの直進車両が多くなかなか右折できず、交差点内で停車する場面が多くなる。交通安全事故防止のため、非常に危険な当交差点の右折可の信号、時差式信号の信号機改良等早急な対応が必要と思うがどうか

答 警察に確認すると、渋滞は把握し、今後交通量等の状況調査をしながら検討していきたいとの回答をいただいている。期待したいと思う。

詐欺被害防止対策

問 多利用化する特殊詐欺被害が頻発する現状で、豊岡市として被害の実態、周知方法、注意喚起および未然防止対策はどのように行っているか

答 詐欺被害や未遂事案が発生した時は直ちに防災行政無線により市民に注意喚起を行っている。また、消費生活などにかかわる詐欺被害に遭わないように、出前講座等さまざまな方法で啓発活動や事業を行っている。

CO₂、コスト削減のためLED化推進を

市政を問う



筆談で聴覚障害者に対応する市職員



井垣 文博議員
(とよおか市民クラブ)

障害者が普通に暮らせる まちを目指して

障害者差別解消法施行

問 この法律は、障害がある人もない人も互いに認め合い、共に生きる社会を目指している。これまでの取り組みはどうか

答 法の概要を市広報に掲載し市民への周知・啓発を図ったほか、職員への研修、パンフレットの作成、企業等への出前講

座を実施した。今後積極的な啓発に努めたい。

問 障害者が普通に暮らせるまちを目指し、差別解消法の理念を取り入れた市障害者計画の改定をすべきと思うがどうか

答 新たに障害を理由とする差別の解消の推進を項目に盛り込む。

豊岡市小中一貫教育

問 4月から小中一貫教育が実施される。この教育で9年後の子どもはどのように成長しているか

答 目指す子ども像は、ふるさと豊岡を愛し、夢の実現に向け挑戦する子どもの育成である。

問 一貫教育

の内容はどのようなものか

答 ふるさと教育、英語教育、コミュニケーション教育のローカル&グローバル学習と教育課題解決に向けた学習指導と生活指導の2つの視点で取り組む。

問 有害駆除緊急対策3か年計画が終了する。今後のシカの駆除対策をどのように進めるのか

答 3か年の取り組みで一定の効果は上がった。来年度以降もシカの有害捕獲を積極的に進める。

問 ラムサール条約登録湿地のエリア拡大が計画されているが、その目指すべきものは何か

答 登録の狙いは、湿地生態系の価値を認識し、その保全活動を強めていくことにある。生態系の保全と活用、その地域の誇りの醸成や活性化に向けた取り組みを進める。



関貴久仁郎議員
(かがやき)

市民のほんとうの感覚を 感じるべき

厳しい市民感覚

問 次期総合計画に係るアンケート結果から、市民がどのように市政に対しての思いを持っているのか

答 満足度低、重要度高は、雇用対策の推進や子育て環境の充実等また、満足度高、重要度低がコウノトリと共生する豊かな自然・文化の保全・再生・創造や情報発信戦略の推進等となっている。また、満足度、重要度が低は、魅力ある地域の形成や、男女共同参画社会づくりの推進等である。一方、満足度、重要度高は防災・減災力の向上、健康づくりの推進、安全な暮らしの構築であるが、各取り組みの全体が知られていないこともあり、今後の重要度が低い取組みについては、十分に充実できたと評価され

ている捉え方ができるかとも思う。

問 他市を見、周りを見、問題、違いに関して、市民がどんな意識を持ち、どのように要求・要望しているか、少しアンテナを張って感じていただきたい。それが、予算編成に多少なり入っていればと思うが、いかがか

答 子育ての話もあった。夫婦が持つ子どもの数は増えていく。多くの子どもを持つようになつていく。他方で、子育て支援のことを聞くと、不満が出てくる。これは、足りないものもあれば、何がなされていないかをご存じないことによる不



市民感覚で若者が帰って来たい故郷・豊岡づくりを！